

翔生 (しょうせい)



Symbol Logomark これまで各地商工会議所で使用されている商工会議所マークの下に、ゴシック体でデザインしたシンプルで馴染みやすいロゴマークとなっています。ロゴは、商工会議所青年部の英語名(Young Entre-

平成4年(1992年)

11月1日号

通巻第13号

(年2回 3月・11月発行)

発行

全国商工会議所青年部連合会
東京都千代田区丸の内3-2-2
日本商工会議所中小企業振興部内

☎03-3283-7847

編集 広報委員会

preneurs Group)の頭文字をとったものですが、同時に商工会議所青年部の持つコンセプト(若さ、情熱、広い視野をもった経営者=Youth, Energy, Generalist)を表わしています。

紅花ろまん・出会い IN YAMAGATA

全国商工会議所青年部連合会設立10周年記念大会

第12回全国大会 11月6日~7日

商青連設立10年にふさわしい大会をー!

山形県商工会議所青年部連合会会長 後藤 俊夫
山形商工会議所青年部会長



時代の曲がり角にいる
あなたへのメッセージ

全国商工会議所青年部連合会会長
神谷 竹彦

本年度は7月の花巻から始まり、岡崎、福井、帯広、多度津、行橋、米子、松代、そして千葉へと結ばれた全国を九つのブロックに分けて行なわれる運営研究会も、YEGの在り方、進み方とともに語らい交流を深め、意義ある大会を作り上げていただきました。着実に成長しているYEG活動を実感し、各地主管YEGの皆さんの創意と工夫と情熱に對し、紙面をお借りし感謝する次第です。どうもありがとうございます。さてこの運営研究会の集大成ともなる全国大会は、特に本年は「商青連設立10年の節目として21世紀につながる重要な大会であります。」「私たちは今、時代の曲がり角にいる」という時代認識のなか、「地域におこせ 新しい風(トレンド)・熱い風(トレンド)」のスローガンを掲げて、地域の力、ポテンシャルを高め、地域の顔、地域らしさ、地域の可能性を見つけて出そうと活動してきました本年度、ぜひとも多くのファンにご参加いただき、商青連の強力な組織力というヒューマン・ネットワークを使い、地域に共感と刺激を与えていくこうではありませんか。そして曲がり角の向こう側の風景を見る最初の仲間と一緒に過ごしてもらいたいと心から願っています。

平成4年度
第12回商
会議所青年部
全国大会 山
形大会は山形
県商工会議所
青年部連合会
主管のもと山
形市で開催さ
せていただく
ことになりま
した。

このような高速交通網の整
備により多種多様なアクセ
スが可能となりました。
山形県は、古くは出羽の
国と呼ばれ、山形県を南北
に流れる最上川の流域に紅
花・米などを交易として栄
え、京文化と密接な関係を
持つておりました。また、
名峰月山をはじめとする
湯殿山・羽黒山の山岳三山
は、昔は修験者の聖地とし
て、現在も信仰の山として
参拝者が絶えません。

山形県は国体
の開催場でも
あり、社会基
盤が急速に整
備されました。
昨年、山形
横断道が東北
自動車道に直
結しました。
庄内空港が開
港し山形県内
に山形空港と
合わせて2つの
空の玄関が
できました。
加えて今年七
月山形新幹線
が開通し、山
形東京間を二
時間三〇分程
で結ぶま

山形大会のロゴ・ガンは
「紅花ろまん」
出羽いの国
「出会い・ふれあい」
おもてなしです。

山形県は国体
の開催場でも
あり、社会基
盤が急速に整
備されました。
昨年、山形
横断道が東北
自動車道に直
結しました。
庄内空港が開
港し山形県内
に山形空港と
合わせて2つの
空の玄関が
できました。
加えて今年七
月山形新幹線
が開通し、山
形東京間を二
時間三〇分程
で結ぶま

山形大会のロゴ・ガンは
「紅花ろまん」
出羽いの国
「出会い・ふれあい」
おもてなしです。

山形県は国体
の開催場でも
あり、社会基
盤が急速に整
備されました。
昨年、山形
横断道が東北
自動車道に直
結しました。
庄内空港が開
港し山形県内
に山形空港と
合わせて2つの
空の玄関が
できました。
加えて今年七
月山形新幹線
が開通し、山
形東京間を二
時間三〇分程
で結ぶま

山形大会のロゴ・ガンは
「紅花ろまん」
出羽いの国
「出会い・ふれあい」
おもてなしです。

山形県は国体
の開催場でも
あり、社会基
盤が急速に整
備されました。
昨年、山形
横断道が東北
自動車道に直
結しました。
庄内空港が開
港し山形県内
に山形空港と
合わせて2つの
空の玄関が
できました。
加えて今年七
月山形新幹線
が開通し、山
形東京間を二
時間三〇分程
で結ぶま

山形大会のロゴ・ガンは
「紅花ろまん」
出羽いの国
「出会い・ふれあい」
おもてなしです。

山形県は国体
の開催場でも
あり、社会基
盤が急速に整
備されました。
昨年、山形
横断道が東北
自動車道に直
結しました。
庄内空港が開
港し山形県内
に山形空港と
合わせて2つの
空の玄関が
できました。
加えて今年七
月山形新幹線
が開通し、山
形東京間を二
時間三〇分程
で結ぶま

山形大会のロゴ・ガンは
「紅花ろまん」
出羽いの国
「出会い・ふれあい」
おもてなしです。

中て育まれたロマンを媒体
としながら、多くの人達と
の出会い、ふれあいを大切
にした「楽しい場」を演出
してまいります。
平成四年度は商青連設立
十年という節目の年であり、
地域を支える青年経済人と
しての自覚としての社会的役
割を認識し、来たるべき二
一世紀に向けての新たなま
す。飛躍の場としたいと思
います。

ますます流動化する国際
国内情勢の中で、確かな時
代認識のもと後の商工会
議所青年部としてのビジョ
ンを示し、進むべき方向を
確認したいと思つていま
す。また、地域・業種を越え
た友情を深めることにより
交流ネットワークづくりを
促進したいと思つていま
す。

大会初日の十月六日は
「金」は、「国際化」をテ
ーマに、商青連設立十年記
念イベントとして、「地球討
論会」と題した大討論会を
始めます。山形弁研究者
ダニエル・カール氏などに
ゲストを交えて、大に語り
ていただきます。討論会
の後には懇親会で、山形の芸
能を御覧いただきながら、
山形ならではの旬の味、地
酒などを十分に堪能して頂
きます。

大会二日目、十一月七日
(土)は、評論家 佐高 信氏
を講師に「いま、企業に
求められるもの」と題した
記念講演会に始まり、続く
記念式典では、「山形宣言」
が発表され、商青連の今後
の指針となります。

大会が開催される季節、
山形は秋の美しい味覚が
満ちあふれる時期でもあり
ます。

すまじ、会員一同最善の
思いをこめて、そして素晴らしい企画を考えてまいります
ので、平成四年十一月六日
・七日の両日の山形大会に
参加された皆様がお越し頂
きますようごに御願ひ申し上
げます。

すまじ、会員一同最善の
思いをこめて、そして素晴らしい企画を考えてまいります
ので、平成四年十一月六日
・七日の両日の山形大会に
参加された皆様がお越し頂
きますようごに御願ひ申し上
げます。

全国大会スケジュール

- 11月6日(金)
 - 9:30~14:00 前泊者観光 山寺(立石寺)・企業ほか
 - 12:30~14:00 会員総会 (於: 山形市総合スポーツセンター)
 - 14:15~17:15 商青連10年記念イベント「地球討論会」
(於: 山形市総合スポーツセンター)
 - 特別ゲスト: ダニエル・カール(山形弁研究者)
コーディネーター: 関口 憲(国際問題研究者)
 - 18:00~20:00 懇親会 (於: 山形市総合スポーツセンター)
- 11月7日(土)
 - 9:30~11:00 記念講演 (於: 山形市総合スポーツセンター)
「今、企業に求められるもの」 評論家 佐高 信氏
 - 11:30~13:00 記念式典 (於: 山形市総合スポーツセンター)
 - 13:00~14:00 昼食、山形名物「いも煮パーティー」
(於: 山形市総合スポーツセンター)



毎年秋に行なわれる日本一の芋煮会

「私はあなたのコンサルタ
ン」の四テーマで分科会
が開催されます。徹底討論
となりYEGのアイデンティ
ティを確立の場となれば
と思つております。
「地球討論会」終了後はメ
イン会場へ移動していただ
きお楽しみ懇親会です。
酒田・北前太鼓のオーパ
ニングの後、山形県連六単
会が用意した地域色あふ
れる味を、米どころならで
はの地酒とともに味わって
いただきます。また山形名
物「花笠音頭」を皆様にお
していただき、参加型のそ
して出合い、ふれ
あい、語り、を大
切にした懇親会
です。

大会三日目、十
一月七日は評論家
の佐高 信氏による
記念講演会が始ま
ります。「時代は
今、曲がり角の
認識のもと、今か
るべきかをいま、
企業に求められる
もの」というテー
マで二講演して頂
きます。

記念講演終了後
式典に移ります。
式典は「共生の時
代」をテーマに構
成されます。
自然と共に生き
て日本の子孫にお
いて「大芋煮・イ
も煮」は、商青連
設立十年記念「山
形宣言」が発表さ
れます。

大会三日目、十
一月七日は評論家
の佐高 信氏による
記念講演会が始ま
ります。「時代は
今、曲がり角の
認識のもと、今か
るべきかをいま、
企業に求められる
もの」というテー
マで二講演して頂
きます。

大会三日目、十
一月七日は評論家
の佐高 信氏による
記念講演会が始ま
ります。「時代は
今、曲がり角の
認識のもと、今か
るべきかをいま、
企業に求められる
もの」というテー
マで二講演して頂
きます。

大会三日目、十
一月七日は評論家
の佐高 信氏による
記念講演会が始ま
ります。「時代は
今、曲がり角の
認識のもと、今か
るべきかをいま、
企業に求められる
もの」というテー
マで二講演して頂
きます。

大会三日目、十
一月七日は評論家
の佐高 信氏による
記念講演会が始ま
ります。「時代は
今、曲がり角の
認識のもと、今か
るべきかをいま、
企業に求められる
もの」というテー
マで二講演して頂
きます。

紅花ろまん 出羽いの国

大会実行委員長 佐藤善三郎



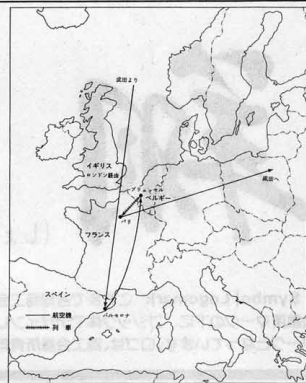
式典は「共生の時
代」をテーマに構
成されます。
自然と共に生き
て日本の子孫にお
いて「大芋煮・イ
も煮」は、商青連
設立十年記念「山
形宣言」が発表さ
れます。

そして地球時代!

記念事業

ン、ベルギー、フランス)を訪問

1982年6月21日(日)~6月28日(日)



バルセロナ商工海運会議所



日本人会との懇談会(ブリュッセル)



ラ・デファンス(パリ)



ラ・ヴィレット(パリ)

ECへの理解深める

全国商工会議所青年部連合会(商青連)
研修委員長 高武幸一

今回の欧州視察研修は、今年設立十年を迎えた全国商工会議所青年部連合会(商青連)の記念事業の一環として行われた。商青連では、過去に米國・カナダ(一九八七年)、東南アジア(一九九〇年)と二度の海外視察を行っている。今回の主たる目的は、域内市場統合を今年中に完成せよとしているEC諸國の事情を少しでも肌で感じることにあった。

六月二十一日~二十八日までの八日間、前後の移動を除けば実質六日間の研修となった。訪問地は、EC内で順調に経済成長を続け、また、一カ月後にオランダ

の個々の理解をより深めた。最初の訪問地バルセロナでは、バルセロナ商工海運会議所を訪問。十三世紀建設の重厚な会場、バルセロナを中心とするカタルニャ地方の事情の説明を受け、質屋の中でオリピック誘致目的について、第一は社会資本の整備であり、EC市場統合後の企業進出対象地域としてバルセロナの優位性を高めることであると聞くことであった。オリピック予算の七五%が通信、道路、都市再開発など、社会資本整備に向けられている。会議所のオリピック開催中の取り組みは、観光客として訪れる企業家の人々へ、経済インフォメーションセンターを教簡所もつけて企業誘致PRを積極的に行なうということである。オリピック開催まであと三十三日のバルセロナは、実に淡々としているように思えた。

として訪れる企業家の人々へ、経済インフォメーションセンターを教簡所もつけて企業誘致PRを積極的に行なうということである。オリピック開催まであと三十三日のバルセロナは、実に淡々としているように思えた。



街頭レストランでの大宴会(ブリュッセル) これは本当にすごかった!

いじはなかった、EC機構。現状の説明をうけ質問を行なった。この訪問で感じたことは、デンマークの批准、否決国民投票結果を見るよ

うに、EC各國の国民すべてが統合について理解しているものと思われぬが、しかし、一九九二年市場統合からさらに通貨、政治統

合へ向けての一連の大きな流れは、確実に一歩一歩前進して行くと思われる。最後の訪問地パリでは、フランスの国家プロジェクトである「ラ・デファンス」(副都心建設)と「ラ・ビレット」(科学・技術と産業の大博物館)を視察した。ラ・デファンスは、ヨーロッパの大企業集積都市として六千もの企業、商店が入居する近代ビルが林立し、EC統合後の中心都市としての地位を確実に高めている。ラ・ビレットは、パリの文化施設として全計画の完成していない現在でも年間六百五十万人の人々を集めているということであった。

以上、今回の研修は、三都市で公式訪問をすることができ、又、ブリュッセルでは現地日系企業の方々と話し合えることができました。EC市場統合問題を始めるための研修目的には参加し終わりましたが、今回の研修に指導をいただきました日



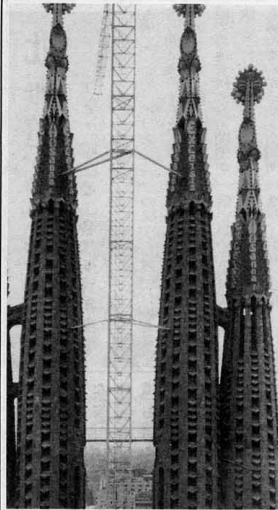
エッフェル塔をバックに(パリ)

本商工会議所の皆様並びに、参加したすばらしいY.E.G.の仲間達に感謝申し上げます。告知いたします。



時代は今 ボーダレス、

商青連設立10年 商青連欧州視察団EC3カ国(スペイン)



今回の欧州視察は八日間と

「欧州視察を終えて」

下関青年部 片野 静次

ヨーロッパコメント

鳥取青年部 小谷 寛

ブリュッセルの日本人会で聞いたドイツではバカンスの混雑緩和のため夏休みを、フランスでもスキ場の混雑解消のためにABC三地区に分けて冬休みをすらすら、日本でも日曜日など週一律の休日を廃止してはどうか、

エネルギーは無駄にならない、リサイクルも活気がある。ヨーロッパには経済や経営において学ぶ必要を感じなかったが、遊びやデザインには学ぶべき多くのことがあると思った。

新しい風(トレンド)を探る

商青連欧州視察団 団長 神谷 竹彦

1 回目アメリカ、2 回目アセアン諸国に続いて企画した第3 回商青連海外経済視察地に、今世界で一番ホットでドラスティックな場所であるEC 諸国を選んだことは、参加者全員が価値ある情報と身近な体験という大きな成果を持ち帰ることができ、正しい選択だったと確信している。

1992 年末に向けてEC 域内の経済的国境を撤廃し、モノ、人、資本、サービスなどが自由に移動できる領域を創設しようとする域内市場統合、それに続いてECU という単一通貨を導入しての経済・通貨統合、さらに共通の外交・安全保障政策を目指す政治統合を実現させる、欧州連合を創り出そうとしているEC 諸国。この動きは、文明的意味を持つ歴史の実験といわれている。その様なEC 12 国の中から目的の、日程的、経費的な視点からスケジュールを作り出すのは容易な作業ではなかったが、研修委員会の熱心なデイスカッションから、(1) パルセロナでのオリンピックのもたらす経済・社会現象の視察、(2) ブリュッセルでのEC 本部訪問 (3) バリ市郊外に建設されている副都心ラ・デフアンスの視察という3 都市訪問に絞り込んだりは、随分と勇気のあることだったと思う。

参加者感想

欧州視察を終えてのコメント

日本商工会議所 藤波 洋

「経済共同体」から「欧州連合」(E.C.) へと「二十一世紀への統合に向けてE.C. が飛躍しよう」として、この時、商青連の視察研修が加盟三ヶ国を訪問したことは、まさに意義深い。E.C. 本部で懇談したO、バゲナリー氏が最後に言った「統合は誰のためにやるのかを忘れたい。」

てはならない」という一言が印象的であった。商青連も時を超えて飛躍しようとしていなければならない。これまで十年を基礎に、このための商青連を、忘れずにY.E.G. スピリットを發揮して欲しい。

オリヒック直前のパルセロナ、ブリュッセル、日本社会、統合前のE.C. 本部、中世そのまのアーネー、列車から見るフランス農村地帯、変らぬパリの街並み、躍動するパリデフアンス地区などを訪問した。古い中にも、新しい時代へしたたかに対応する姿がよく見て取れた。

私達日本の青年経済人も、変動する新世紀に向けて、しっかりと立向わねばという思いを強くした。

の濃い、実りの多い視察に合ったと思う。

そんな折りの本年9月24日鳥取県東牟婁郡でアセアン・回窓会と銘打ったアセアン諸国経済視察団メンバーの旧交を温める機会があった。今思い出しても、過酷(?) なスケジュールと暑さで取極も多かったとともに疲労も多かった研修であっただけに強烈な思い出ばかり。2~3 時間の会のためににもかかわらず遠方より沢山のメンバーが集まり、久しぶりであるのに、たちまちのうちに大懇話会になってしまった。本当に良き友を得たとつくづく実感した夜であった。

旅は例えどこへ行っても同伴する人、会う人が様々な思いを残す。ましてや海外というインパクトの強い旅でのこと、なお更である。

今回の欧州のメンバーもアメリカ、アセアンの集いの友情に負けないものを持ち帰った。またまた良き友を得たと喜んでる次郎である。

何でも相談(Q&A)コーナー????

このコーナーは、全国の青年部活動における悩み、問題点などを集め、商青連スタッフがお答え、アドバイスしたものです。

翔生

九州ブロック内県連

Q 我々、県連は平成3年に4つの青年部で設立しました。設立にあたり色々な問題があり、その中で最も大きな問題は、商青連に加盟している単会と加盟していない単会があり、県連の予算に役員派遣についての負担を組み入れるかの問題がありました。

この問題を取り上げれば話が平行線になるので、いったん棚上げをして、まず県商青連を作ろうということになりました。

本年は、残りの単会も商青連に加盟するとは思いますが、役員派遣については地方の県連において大きな負担になりますので今後、旅費の補助等も検討してもらいたいです。

A G質問をお受けしての回答に成りきるかどうか私自身も苦慮致しておりますがご返答申し上げます。

先ず出向費用の負担問題ですが、県連で負担すべきなのか? 出向者を選出している単会が負担すべきなのか? この問題は全国各地で意見が百出致しております。先般商青連の総務委員会が全国からの出向理事全員を対象にアンケート調査を行いましたところ、次のような結果が出てまいりました。

1. 全額自己負担	9%
2. 全額支給	33%
3. 宿泊費のみ自己負担	15%
4. 一部自己負担	43%

一部自己負担の内容(何%の負担か)

30%負担→13%	40%負担→6%	50%負担→33%	60%負担→13%
70%負担→13%	80%負担→13%	90%負担→6%	

以上の様な結果が現状であります。

出向費用について、商青連の役員会の中でも大きな問題として各役員が認識致しておりますが、北は北海道から南は沖縄迄距離と時間の離れた地域によっては距離はさほど離れて無くても交通アクセスによって沖縄より時間がかる場所もある。県連からの出向は、金銭的にも肉体的にも負担が有る事は現実です。一部の意見として商青連から費用の負担を考えるつもりは無いのか? と言った議案も有りました。しかしながら商青連も現在の会費の中で出向者に対する補助等は不可能で有ります。アンケートの中にも有りましたが全額個人負担又は一部個人負担と言った様々な方法が各県連で取られております。

私も含めて出向役員として出向かれる方は、各地域と商青連とのパイプ役で有ると同時に一個人として自己研鑽の場である事を強く感じざるを得ない行動意欲を感じております。

一概にどの様な方法が正しいのか、各単会の年会費、県連加盟単会の総数等様々な事情の中申し上げることはできませんが、会議所活動のなかの一翼を担っていると言う自覚と自負で役員活動のなかで何かを掴み取って地元に戻れば、いつもそう考えて出向いて来ております。的確な回答に成っておりますが各単会県連の中でよくお話し合いになりご理解を頂きより良い方向に向かわれる事を願っております。近い将来商青連としてのなんらかの方向性は示して行きたいと考えております。

総務委員長 徳増 良平

北陸・信越ブロック内青年部

Q(I) 部会員数の拡大
設立して2年弱ということもありますが、総数をもっと増すことにより、従来不可能であった事業を行いたいと思っておりますが、現状では思ったようには部会員数を増せない現状です。

Q(II) 部会員の出席率の低下
設立時にはこれほどではなかったのですが、昨年8月に降ったり例会・行事への参加者が減り、今後この状態が続くと、青年部活動に支障をきたすと思われま。

Q I 会員数の拡大ですが設立2年弱で増員がなかなか難しいという問題。
A I 各々の単会でも同じような問題があると思っておりますが、まず第一に青年部というものを明確に、かつ基本となることを理解していただきたいと思います。

私は地域の中で商工会議所の仕事は、商業・工業をベースとする経済活性に開く分野の専門職と親と見たい。他の団体、例えば青年会議所の活動をするなら、我々と違い、提言をし、文化、奉仕、交流など幅広い分野に活動しています。我々青年部は企業家活動で、街のイベントを大きく広げて集客を図ること、シンポジウムを開いて啓蒙活動をするなども、全てがその地域のアイデンティティを地域はもとより全国さらには国際的なものまでに広げることと考えてもらいたい。その産地の物産でも形づくられたもの全てが将来的に活発に拡がらなくてもいい。又、純粋に街が衰退していくことが予感されるなら、まさしく経済性、生産性を高められるものをもって、構想を推進するなり実現出来るように活動していくことこそ当青年部の方向です。

そのこと考えていけば増員も、一つには他の団体の卒業者も入会してもらえますし、商・工に関係する人は全て対象となります。さらに、人脈を利用し、先輩から、もしくは、気心のよい仲間から誘いを強くアピールしたり、会議所の議員の御子息と無数にあるのではないですか。自信をもって会員を拡げて下さい。

Q II 会員の出席率の低下について
A II これも全て共通の悩みでしょう。例えば部の意識向上についても、会員の誕生日祝いをしたり、互いに知りあう仲間として、移動例会でコミュニケーションをやったり共通の話題をししていくこと。又、他の単会で言っていました、罰金をつくらなくてもいいところもあります。さらに100%集会をつくり、その企画は逆に出席率の悪い人の考えで計画せるとかの方法も一考でしょう。

組織強化委員長 奥野 賢一

全国の青年部のみならず、何か悩み、相談があれば、あなたの青年部もこのコーナーに参加してみませんか。
お問い合わせは、全国商工会議所青年部連合会(日本商工会議所中小企業振興部内)まで。

北海道ブロック

主幹・帯広商工会議所青年部
「帯広商工会議所青年部」として、又「交流」として、この一年はあ...

東北ブロック

主幹・花巻商工会議所青年部
「第一回東北ブロック商工会議所青年部運営研究会」は七月十八日、花巻商工...

九州ブロック

主幹・行橋商工会議所青年部
「第十二回九州ブロック商工会議所青年部運営研究会」は十月九日、行橋商工...

東海ブロック

主幹・岡崎商工会議所青年部
「東海ブロック商工会議所青年部運営研究会」は十月二十三日、岡崎商工...

四国ブロック

主幹・多度津商工会議所青年部
「四国ブロック商工会議所青年部運営研究会」は十月二十三日、多度津商工...

関東ブロック

主幹・千葉商工会議所青年部
「第十二回関東ブロック商工会議所青年部運営研究会」は平成四年十月十四日、千葉商工...

近畿ブロック

主幹・福井商工会議所青年部
「近畿ブロック商工会議所青年部運営研究会」は十月九日、福井商工...

中国ブロック

主幹・米子商工会議所青年部
「第一回中国ブロック商工会議所青年部運営研究会」は十月十五日、米子商工...

北海道ブロック

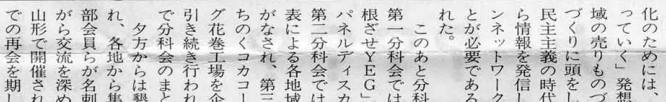
主幹・帯広商工会議所青年部
「帯広商工会議所青年部」の活動の方向を決定する...

地域に根ざせYEG
平成4年度ブロック運営研究会レポート
出会い、情熱、語らい、各地に根ざすYEG!



'92北海道ブロック商工会議所青年部運営研究会 地域におごせ 新しい風・熱い風

「帯広商工会議所青年部」として、又「交流」として、この一年はあ...



式典終了後は記念講演が開かれ、システム研究会...

「福井のミスがいったいおなんだ」 「ミスと撮った写真テレカになるんだ」...



式典終了後は記念講演が開かれ、システム研究会...



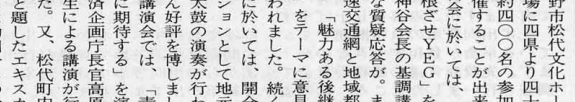
式典終了後は記念講演が開かれ、システム研究会...



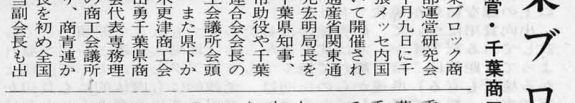
式典終了後は記念講演が開かれ、システム研究会...



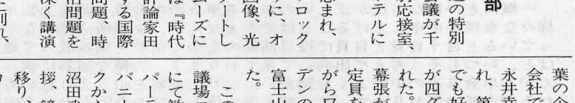
式典終了後は記念講演が開かれ、システム研究会...



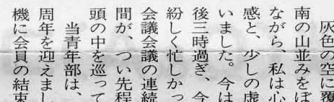
式典終了後は記念講演が開かれ、システム研究会...



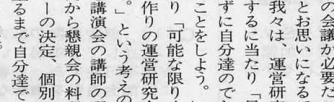
式典終了後は記念講演が開かれ、システム研究会...



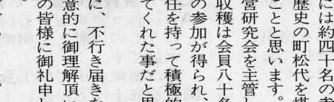
式典終了後は記念講演が開かれ、システム研究会...



式典終了後は記念講演が開かれ、システム研究会...



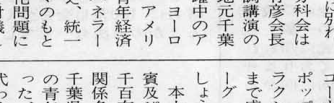
式典終了後は記念講演が開かれ、システム研究会...



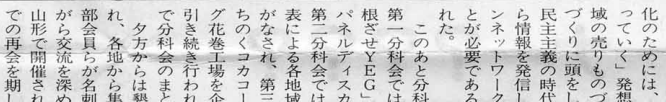
式典終了後は記念講演が開かれ、システム研究会...



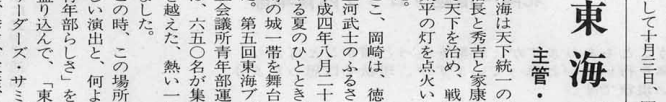
式典終了後は記念講演が開かれ、システム研究会...



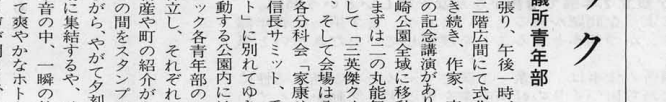
式典終了後は記念講演が開かれ、システム研究会...



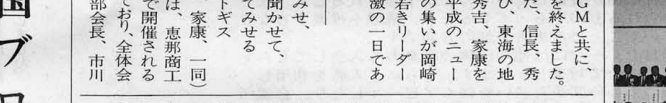
式典終了後は記念講演が開かれ、システム研究会...



式典終了後は記念講演が開かれ、システム研究会...



式典終了後は記念講演が開かれ、システム研究会...



式典終了後は記念講演が開かれ、システム研究会...



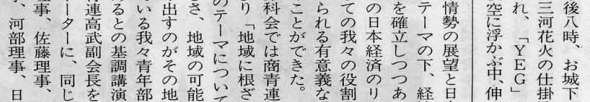
式典終了後は記念講演が開かれ、システム研究会...



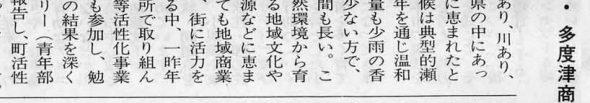
式典終了後は記念講演が開かれ、システム研究会...



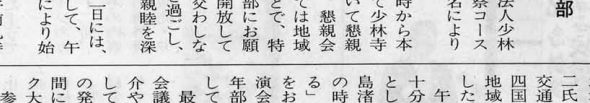
式典終了後は記念講演が開かれ、システム研究会...



式典終了後は記念講演が開かれ、システム研究会...



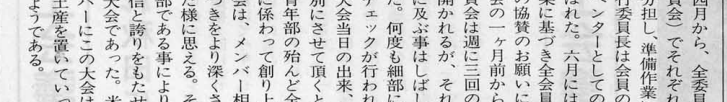
式典終了後は記念講演が開かれ、システム研究会...



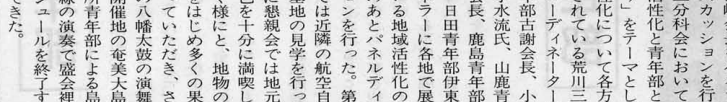
式典終了後は記念講演が開かれ、システム研究会...



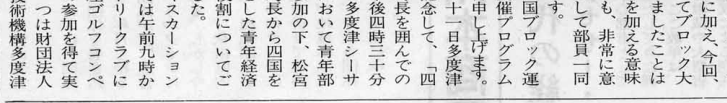
式典終了後は記念講演が開かれ、システム研究会...



式典終了後は記念講演が開かれ、システム研究会...



式典終了後は記念講演が開かれ、システム研究会...



式典終了後は記念講演が開かれ、システム研究会...



式典終了後は記念講演が開かれ、システム研究会...

高松商工会議所青年部

総立10周年に向け、 今新たなロマンを求め

気候温暖な瀬戸内海に面し、風光明媚な地として、四国高松が有ります。昭和五十八年四月、次代を担う若手経営者・後継者の自己研鑽及び交流の場として誕生しました。

この十年の間、各種研修会、講習会に、飽く無き探

究心を満たすため、積極的に参加し自己研鑽に励んで来ました。そして、十年の集大成として、創立十周年記念事業を、部員一同に夜も遅くまで協議を重ねました。

まず、第一弾として、韓国視察研修事業を実施し、韓国の実情を肌で感じ取りました。

第二弾として、松下政経塾高松校の開設。そして、十月二十日の記念式典、翌日は、パリリテイとして、弁舌爽やかな、淳氏をお迎えしての講演会及び創立十周年記念誌の発行。

これらの諸事業を計画し推進して行く内に、漸く、青年部が一致団結した様に思われます。

創立十周年記念事業のスロガンである、「今、新たな熱きロマンを求めて」の如く、心に熱きロマンを



松下政経塾高松校

持ち今一度わが町高松を見直し、ロマン溢れる街にすべく部員一人々が、それぞれ立場でそれぞれの地域

で、例え小さな灯かも知れないが、明日を照らす灯として、照し続けて行きたいと思ひます。

千葉商工会議所青年部

平成4年度関東ブロック 商青連会長会議千葉にて開催

同会議は、平成四年六月五日に、主管千葉商工会議所青年部(土屋雅夫会長)で千葉市幕張の幕張アリンホテルにおいて開催された。今秋に本大会である第十一回関東ブロック商工会議所青年部運営研究会千葉大会を控えている主管の千葉商工会議所青年部は千葉県商工会議所青年部連合会の各県会の協力のもと意欲的な実施を行った。

商青連事業である全体会議の後、今秋のブロック大会にも予定している急展新都心見学会を参加者全員で研修した。この見学会には勿論千葉商工会議所(吉成儀会長)に関係のある千葉コンベンションビルローエの協力があり、インテリジエントビルで超高層ツインタワーのWBG(ワールドビジネスセンター)各所の



平成4年度 関東ブロック商工会議所青年部会長会議

秋田商工会議所青年部

甦れ轟、還れ秋田に

当青年部が加盟している秋田青年市民会議では、一昨年からの「しらせ」運動をすすめてきたが、本年度の最大イベントを南極観測船「しらせ」の秋田港での一般公開に合わせ、九月二十五日、二十六日、二十七日と十月四日の四日間、秋田港と白瀬記念館を会場として開催した。

秋田県金浦町出身の白瀬

轟中尉が日本人として初めて南極大陸に渡り、日章旗を掲げて今年がちょうど八〇周年に当たり、この記念すべき年を私たちは「しらせ誘致運動元年」と位置づけ、秋田県民のアイデンティティを求めるとともに、秋田の子供たちに夢を抱くことの素晴らしさと、その夢を実現する不屈の闘志を郷土の偉人に学び、自らの人生に自信を持つて生きて

恵庭商工会議所青年部

張メッセ内を自営の後、懇親会に移った。

ホテル内での懇親会は地元のオフィス、高層階のフィットネスクラブ、フイットコートを含む「ムーンメント」で、最上階三十四階より眼下に新築の千葉マリンスタジアムや東京湾更に対岸の神奈川県各地を見ることになった。

張メッセ内を自営の後、懇親会に移った。

ホテル内での懇親会は地元のオフィス、高層階のフィットネスクラブ、フイットコートを含む「ムーンメント」で、最上階三十四階より眼下に新築の千葉マリンスタジアムや東京湾更に対岸の神奈川県各地を見ることになった。

恵庭の夏を彩る「漁川夏まつり」と「恵庭納涼盆踊り」が本年度も盛大に開催された。

この二つのイベントに深く関わってきたのが恵庭商工会議所青年部である。

恵庭市は人口が五万八千人、古くからの農村地帯であったが近年、北海道の空の玄関口である千歳空港に隣接という交通条件にも恵まれ、大規模ニュータウンの造成や道内の代表的企業であるサッポロビール北海道工場が進出するなど都市化の色彩が強めている。

こうした中であつてふるさとを意識した地域イベントとして商工会組織時代よりいっしょに取り組んできたのである。

本年度も、見つめ直そうふるさとの心を、合い言葉に市内の青年層やマチオにグループとも連携し、二日間に亘って実施したが、仮装盆踊りを始めとするユ



二ツクを演出が市民の好評を呼んだのである。

恵庭商工会議所青年部としては発足以来三年目であるが、商工会時代の実績も踏まながら常に恵庭の活性化を指向しイベントに取り組んできたことを自負するものである。



将米南極観測船「しらせ」が提案し、諸団体を巻き込む型で出発し、年月を経るごとに参加団体が抜け運営が大変だというパターンになりがちである。しかし、今年度のイベントは、秋田県内の異なる地域・組織団体が三年前から一つのテーマに取り組み歩調を併せて進めてきた。これが地域活性化の原点であり、今後各団体一致協力して本事業に取り組んでいきたい。

州本商工会議所青年部

次世代の経営者を！ サクセサー・カレッジ開校

淡路島の中心都市としてその役割を果たしてきた洲本市ですが、この数年は、本市街地の激減・大型店と商店街の離反による商店街の衰退、又、従来からの道路事情の悪化や、駐車場不足、さらには有効なアメニティ施設がないなど相俟つて、淡路島の中心地としての洲本の地盤沈下が、顕著に現れ初めています。

これらの現状・問題点を打開するには、小規模企業の特長・柔軟性・即応性(フレキシビリティ)及び企業化精神・行動力(ハイリキニラム)は、全十二回、八か月間に及び、その内容は、シンカボールでの海外研修を含め、経営・販売・労務管理・税務管理など多岐に渡ります。また、実際の講義も実務的なものから経営理念に至るまで、外資要一氏を初め、それぞれ専門の講師が様々な角度から受講生の能力開発にあたります。

この事業を通して、多様化する需要に即した市場開拓が出来、何事においても積極果敢に、さらに勇氣ある挑戦が出来る小規模企業経営者の育成に少しでも寄与できればと考えています。



サクセサーカレッジ開校式 主催 洲本商工会議所

記念講演
淡路島未来像
講師 村松哲夫氏

地域におこせ新

全国青年部各地

臼杵商工会議所青年部

史跡コンサート大反響のうちに六回目を迎える!!

大分県南部、臼杵市は歴史のある、街並みも今も残り、由緒あるところ、又石と海に恵まれた素晴らしい街であるが、現在の風潮の中で若い人達から古いものとして忘れられようとしていく寺院、遺跡等史跡もかつては人々の文化の中心であり情報源の最前線...



見学者も余韻を残しながら初詣に、家路へと散っていく。その後、多くの会員と関係者との片づけ作業が始まり、「おめでとう」と会話をお交しながら作業も順調かつ大変なごやかに、目的地の為に早くも出発した。

倉吉商工会議所青年部

大晦日に「夢火花」

夢火花.....何と心地良いネーミングであったのだろう。創立五周年記念事業として、実行委員会を色々と模索を重ね大晦日に挙行政を致しました。

準備体制が佳境に入ったのが師走の一日の天板の設置と除幕であった。残された一か月、緊張もいやがうなにも盛り上げてきた。



我々、臼杵青年部の年中心行事の中で大きくウエイトを重めるこのイベントも、回を重ねるごとに、市民の間に定着しつつあることを喜びとして、これからも色々な企画を計画し実行してまいりたいと思っています。

恵那商工会議所青年部

第六回中山道宿場会議 恵那大会大成功!!

昨年度フレサミットより、当所、青年部会、第六回中山道宿場会議実行委員会に力を合わせたのも、もう六回目を迎えることになった。今年も大西啓子さんのピアノで市内武家屋敷でアソブで市内武家屋敷でアソブで行なわれた。開始一時間前より行がでる程、中庭のコンサート会場にも人々入らなうと、狭しと座わって演奏に、歌に、耳を心を踏らせた。

新潟県商工会議所青年部連合会

家族リクレーション大会

七月二十六日に新発田市カルチャーセンターを主会場に行われた第一回東連主催レクリエーション大会には、当日行事と重なったため参加できなかった燕を



のいし。前日から、材料しこんでいただいた手際の良しは関心させられました。結果は一位村上、二位新発田、三位五位、四位亀田、五位加茂となった。



の皆様とともに今後より一層の宿場文化の保存と、宿場に関する情報を利用して、地域の活性化に新たな局面を展開したいと思っております。

YEGグッズ紹介コーナー

瀬戸青年部 やきものの里瀬戸より陶製のタイピンを紹介します。遙か平安・鎌倉の時代より千年余の歴史をもつやきものの里、それが愛知県瀬戸市です。永い歴史と伝統に育まれ、今日まで炎を燃やし続け育てた「やきもののふる里。瀬戸から、今おしやれでさりげなく使っていたただける陶製タイピンを心をこめてお勧めします。陶製の台座にボンチャイナで作った商工会議所のマークを合わせた手作りの作品です。当青年部では発足7年を経て、会員同志の共通したグッズを使用し大変な好評を得ており、又、他の青年部だけでなく商工会議所会員の方にもお使いいただけます。千年の歴史と新しい息吹を感じながらお気軽にお使い下さい。桐箱入りで、1個6千円のところ全国の商工会議所青年部会員と協議所会員には1個3千円でお分けしております(送料実費) 問い合わせは瀬戸商工会議所青年部宛 ☎0561-82-3123。F A X83-5204



